

# 第27号

— 令和5年1月10日発行 —

社会福祉法人 秋田県社会福祉事業団  
**秋田県点字図書館**

〒011-0943 秋田市土崎港南三丁目2番58号

電話 018(845)0031・貸出018(853)4035

FAX 018(845)7772

E-mail tenji@fukinoto.or.jp

H P <http://www.fukinoto.or.jp/tenji>

## 新しい景色を見に行こう

利用者 菊地 隆子

「こんにちはわ！」受付に声を掛けて入りま

す。今日は、週に1度の点字の勉強日です。

若い時から、緑内障という病気に悩まされ

て来ましたが、日常生活に支障をきたすまで

になり、一念発起!!  
点字の入門書や拡大機を借りて、職員の方々の励ましを受けながらの、セルフ勉強会です。

拡大読書機に一人向かっていると、「菊池さん、頑張っているわね！」図書のお貸し出しの方も、声を掛けてくださいます。

そんな時は、人気の図書やおすすめの図書についての、情報収集。

今まで過ごしてきた世界とは別の世界が開けそうな、そんな予感のする、楽しみな今日この頃です。



## 利用者懇談会

3年ぶりに開催することができ、6月に秋田市（当館）、10月に大館市（大館市総合福祉センター）と2回開催し、貸出図書の内容や返却手続き、生活上の相談等や行政への質問などの意見交換を行いました。

利用者懇談会は、当館の利用登録者の方々等より、要望等をいただくとともに、開催地の自治体から補足給付等の情報を提供していただく機会としています。生活・情報機器等の体験も併せて行っています。



## 新年のごあいさつ

館長 高橋 浩文

あけましておめでとうございます。昨年中はひとかたならぬご支援を戴きありがとうございました。

今年も昨年同様変わらぬご指導・ご鞭撻をお願い申し上げます。

今年は私の干支でもあるうさぎ年です。兎には跳ねる特徴があるため、景気が上向きに跳ねる、回復すると言われており、株式市場にとっては縁起の良い年として知られているようです。

止まらないロシアのウクライナ侵攻、物価高など、暗い話題の多かった2022年。うさぎ年にあやかり、好転に跳ね上がって欲しいものです。

令和四年の点字図書館は、新聞で取り上げていただいたり、テレビ局の取材も受け、図らずも広報する機会を得ました。また、コロナ禍の隙間を縫って、県南部などへ、広報のために訪問させていただきました。今年はその波で仲間が増えてくれることを望むばかりです。

今年も秋田県民の皆さんに点字図書館を知っていただき、そこから視覚に障害を持った方たちへの理解が深まることを目標に、事業を展開して行こうと思っています。

今後もボランティアさん達と共に、視覚に障がいを持った利用者様に、より読みやすい本を提供できるよう努力することを新年にあたり誓いとして、図書館職員一同心新たに業務に携わります。これからも宜しくお願致します。

## 夏休み 点字図書館探検

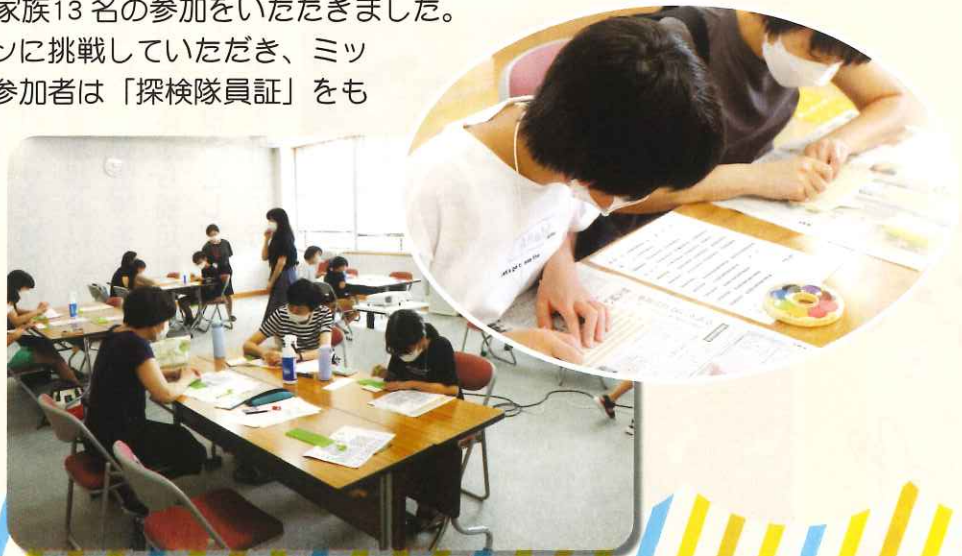
8月4日～6日の3日間、夏休み点字図書館探検を行いました。

事前に全県の小学校にチラシを配布して参加を募りました。

3年ぶりの開催となった地元秋田の竿灯と同じ日になり参加を心配しましたが、小学生17名、付き添いの家族13名の参加をいただきました。

4つのミッションに挑戦していただき、ミッションを果たした参加者は「探検隊員証」をもらうことができました。

感想では「また来てみたい」との声も。いろいろな探検を楽しんで、点字図書館に興味を持っていただいたようです。



## 集合型とオンライン型のハイブリッド勉強会

音訳グループ『月うさぎ』では、従来実施していた集合型の勉強会にオンライン（Zoom）を取り入れ、より多くの会員が参加できるように工夫をして実施しました。このことにより、遠方の方や来館できない方も勉強会への参加の機会を得て、音訳製作活動の充実につながっています。

オンライン参加者からは、「Zoomで勉強会に参加でき大変嬉しかった、音訳をする気力もいただきました」。と前向きな声が届いております。

活動者相互の勉強会をさまざまな形で続けて行い研鑽を積み、今後も利用者サービスの充実につなげていけるよう努めて行きたいと思えます。



## 中学生職場体験

6月30日～7月1日に秋田市立北中学校2年生3名、7月4日～5日に秋田市立泉中学校2年生4名の職場体験学習を受け入れました。

生徒さん達には点字図書館の図書の貸し出し業務を体験していただきましたが、電話などでリクエストされたものを書庫や、パソコンのデータから探す作業や、それを郵送する準備の仕事を担当職員に教わりながら、驚いたり、感激したり。

視覚に障がいのある方へのサービスを体験し、福祉の仕事に興味を持っていただきました。



## 視覚障がい者のための情報機器・日常生活用具展示体験会

10月2日（日）見えない方・見えにくい方々の生活に役立つ情報機器と日常生活用具の紹介や体験、相談を行い、より充実した生活を楽しむ機会を提供することを目的としております。昨今、機器や生活用具は飛躍的に発展しています。この体験を機会に、みなさんの生活に役立つモノ・納得の情報を見つけ、より快適な生活が出来ることを願っています。また当館には一部ではありますが常時機器や用具を展示しています。

秋田県視覚障害者福祉協会の「わくわく文化祭」と共催で開催しました。



